

# 令和元年度とちぎっ子学習状況調査 壬生町全体の調査結果

## 1 目的

本調査の実施により本県児童生徒の学力や学習の状況等を把握・分析し、児童生徒一人一人の課題を明確にするとともに、各学校が組織的に学習指導における検証改善サイクルの構築・運用に取り組むことにより、本県児童生徒の学力向上に資する。

**2 調査実施日** 平成31年4月18日(木) 全国学力・学習状況調査と同日

## 3 調査の対象

(1) 県内の公立学校に在籍する以下の学年の全児童生徒を対象とする。

ア 小学校調査

小学校第4・5学年、義務教育学校前期課程第4・5学年、特別支援学校小学部第4・5学年

イ 中学校調査

中学校第2学年、義務教育学校第8学年、県立中学校第2学年、特別支援学校中学部第2学年

(2) 特別支援学校、小・中学校の特別支援学級に在籍している児童生徒のうち、調査の対象となる教科について、以下に該当する児童生徒は、調査の対象としないことを原則とする。

ア 下学年の内容などに代替して指導を受けている児童生徒

イ 知的障害者である児童生徒に対する教育を行う特別支援学校の教科の内容の指導を受けている児童生徒

## 4 調査事項

(1) 児童生徒に対する調査

ア 教科に関する調査

(ア) 小学校調査は、国語・算数・理科の3教科、中学校調査は、国語・社会・数学・理科・英語の5教科とする。

(イ) 出題範囲は、調査する学年の前学年までの学習内容とする。

(ウ) 出題内容は、学習指導要領に基づき、教科の目標及び内容に即した基礎的・基本的な知識・技能及び思考力・判断力・表現力等に関わる内容とする。

イ 質問紙調査

調査する学年の児童生徒を対象に、学習意欲、学習方法、学習環境、家庭学習等に関する質問紙調査（以下「児童生徒質問紙調査」という）を実施する。

(2) 学校に対する調査

学校における指導に関する取組や学習環境等に関する質問紙調査（以下「学校質問紙調査」という）を実施する。

## 5 学年・教科ごとの調査実施児童生徒数（壬生町）

	国 語	算 数	理 科	社 会	英 語
小学校4年生	351人	351人	351人		
小学校5年生	299人	299人	299人		
中学校2年生	339人	339人	339人	339人	339人

## 6 本調査の実施に関する壬生町教育委員会の考え方

- (1) 本調査は、各学校が児童生徒の学力・学習状況を的確に把握し、指導方法の工夫改善に役立てるために積極的に活用を行う。
- (2) 本調査は学校間、児童生徒個人の序列化や比較を行うものではない。
- (3) 壬生町教育委員会は、栃木県教育委員会の方針にしたがい、本町及び全小中学校の数値データを一括公表することは行わない。

## 7 とちぎっ子学習状況調査 壬生町全体の調査結果の概要

### ○小学校4年生の状況

#### 【小学校4年国語】

《教科総合》…県平均より高い値である。

「基礎」…県平均より高い値である。

「活用」…県平均とほぼ同じ値である。

#### 《領域別・内容別》

○「話すこと・聞くこと」「書くこと」「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」の領域で県平均を上回った。中でも「書くこと」の領域は県平均より高い値である。

●「読むこと」の領域は県平均よりやや低い値である。

○内容的に「漢字を書く」「言葉の学習」「作文」する能力が優れている。

特に「作文」の内容では、すべての問題の正答率が県平均を大きく上回っている。

#### 《出題形式別》

○「選択式」「短答式」の正答率は県平均よりやや高い値である。

「記述式」の正答率は県平均よりかなり高い値である。

#### 【小学校4年算数】

《教科総合》…県平均より高い値である。

「基礎」…県平均より高い値である。

「活用」…県平均より高い値である。

#### 《領域・内容別》

○「数と計算」「量と測定」「図形」「数量関係」の全領域で県平均より高い値である。

○内容的に「大きい数・小数・分数」「長さ・重さ」「円と球・三角形」の分野が優れている。

特に「棒グラフと表」の内容では、すべての問題の正答率が県平均を大きく上回っている。

#### 《出題形式別》

○「選択式」「短答式」「記述式」の正答率で県平均より高い値である。

## 【小学校4年理科】

《教科総合》…県平均よりやや高い値である。

「基礎」…県平均よりやや高い値である。

「活用」…県平均よりやや高い値である。

### 《領域・内容別》

○「物質・エネルギー」「生命・地球」の両領域で県平均を上回っている。中でも、「生命・地球」の領域は県平均より高い値である。

○内容的に「植物の育ち方」「太陽と地面のようす」「風やゴムのはたらき」の分野が優れている。

### 《出題形式別》

○「選択式」「短答式」「記述式」の正答率で県平均より高い値である。

## 【小学校4年意識に関する調査】

○「先生は学習のことについて褒めてくれる」という質問に対しての肯定的答えが県平均より高い値である。

●「家で学校の予習・復習をしている」という質問に対しての肯定的答えが県平均より低い値である。特に「疑問や不思議に思うことは、分かるまで調べたい」という質問に対しての肯定的答えが県平均よりかなり低い値であり、「難しい問題にであうと、よりやる気が出る」という質問に対しての肯定的答えも県平均より低い値である。

以上のことから、粘り強く学習に向かう力の育成に課題が見られる。探究心を高める工夫が必要と思われる。

### 《その他》

○携帯電話・スマートフォンの非所持率は、県平均より高い値である。

## ○小学校5年生の状況

### 【小学校5年国語】

《教科総合》…県平均より高い値である。

「基礎」…県平均より高い値である。

「活用」…県平均より高い値である。

### 《領域別・内容別》

○「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」の全領域で県平均より高い値である。中でも「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」は県平均より高い値、「書くこと」は県平均よりかなり高い値である。

○内容的に「漢字を読む」「漢字を書く」「ポスターを作る」能力が優れている。

特に「作文」の内容では、すべての問題の正答率が県平均を大きく上回っている。

### 《出題形式別》

○「選択式」の正答率は県平均よりやや高い値である。

「短答式」の正答率は県平均より高い値である。

「記述式」の正答率は県平均よりかなり高い値である。

## 【小学校5年算数】

《教科総合》…県平均よりやや高い値である。

「基礎」…県平均よりやや高い値である。

「活用」…県平均より高い値である。

### 《領域・内容別》

○「数と計算」「量と測定」の領域は県平均より高い値、「図形」「数量関係」の領域は県平均よりやや高い値である。

○内容的には「分数」「小数」「億と兆・がい数の表し方」「わり算」「折れ線グラフと表」の分野に優れている。

●内容的には「小数（単位換算）」「変わり方調べ」の分野を伸ばしていく必要がある。

### 《出題形式別》

○「選択式」「短答式」「記述式」の正答率で県平均よりやや高い値である。

## 【小学校5年理科】

《教科総合》…県平均よりやや高い値である。

「基礎」…県平均よりやや高い値である。

「活用」…県平均よりやや低い値である。

### 《領域・内容別》

○「生命・地球」の領域は県平均より高い値である。

●「物質・エネルギー」の領域は県平均よりやや低い値である。

○内容的には「1年間の植物の成長」「天気のようにすと気温」「動物の体のつくりと運動」「月と星」の分野が優れている。

●内容的には「水のすがた」「電機のはたらき」の分野を伸ばしていく必要がある。

### 《出題形式別》

○「選択式」「短答式」の正答率は県平均より高い値である。

・「記述式」の正答率は県平均とほぼ同じ値である。

## 【小学校5年意識に関する調査】

○「自分には良いところがある」という質問に対しての肯定的答えは県平均より高い値である。

○「国語の授業で自分の考えを書くとき、考えの理由が分かるように気を付けて書いている」「算数の授業で問題の解き方や考え方が分かるようにノートに書いている」という質問に対しての肯定的答えがともに県平均より高い値である。更に、「授業で自分の考えを文章にまとめて書くことは難しい」という質問に対しての否定的答えが県平均より高い値である。

●「家で、自分で計画を立てて勉強をしている」「家で、学校の授業の予習をしている」という質問に対しての肯定的答えが県平均より低い値である。また、「授業で分からないことがあると、先生に聞くことができる」「学級活動の時間に、友達同士で話し合っってクラスのきまりなどを決めていると思う」という質問に対しての肯定的答えが県平均より低い値である。

以上のことから、自信をもって主体的に活動することに課題が見られるので、自己管理能力を向上させる指導の手立てが必要と思われる。

### 《その他》

○携帯電話・スマートフォンの非所持率は、県平均よりやや低い値である。

## ○中学校 2 年生の状況

### 【中学校 2 年国語】

《教科総合》…県平均とほぼ同じ値である。

「基礎」…県平均よりやや低い値である。

「活用」…県平均よりやや高い値である。

#### 《領域別・内容別》

○「話すこと・聞くこと」の領域は県平均より高い値である。

「書くこと」「読むこと」の領域は県平均よりやや高い値である。

●「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」の領域は県平均より低い値である。

○内容的に「話し合いの内容を聞き取る」「漢字を読む」能力が優れている。

●内容的に「漢字を書く」「文法・語句に関する知識」「文学作品の内容を読み取る」能力を伸ばしていく必要がある。

#### 《出題形式別》

○「選択式」「記述式」の正答率は県平均よりやや高い値である。

●「短答式」の正答率は県平均より低い値である。

### 【中学校 2 年社会】

《教科総合》…県平均とほぼ同じ値である。

「基礎」…県平均よりやや高い値である。

「活用」…県平均とほぼ同じ値である。

#### 《領域別・内容別》

○「古代までの日本」の領域は県平均よりもやや高い値である。

「中世の日本」の領域は県平均より高い値である。

●「世界の地域構成」「世界各地の人々の生活と環境」「世界の諸地域」の領域は県平均よりもやや低い値である。

○内容的に「古墳時代まで」「中世の日本」の分野が優れている。

●内容的に「世界各地の人々の生活と環境」「飛鳥時代～平安時代」の分野を伸ばしていく必要がある。

#### 《出題形式別》

・「選択式」の正答率は県平均とほぼ同じ値である。

○「短答式」の正答率は県平均より高い値である。

「記述式」の正答率は県平均よりやや高い値である。

### 【中学校 2 年数学】

《教科総合》…県平均よりやや高い値である。

「基礎」…県平均より高い値である。

「活用」…県平均よりやや高い値である。

#### 《領域・内容別》

○「数と式」「資料の活用」の領域は県平均よりやや高い値である。

「図形」「関数」の領域は県平均より高い値である。

○内容的に「文字式」「比例・反比例」「平面図形」「空間図形」の分野が優れている。

- 内容的に「資料の散らばりと代表値」の分野を伸ばしていく必要がある。

#### 《出題形式別》

- 「選択式」の正答率は県平均より高い値である。
- 「短答式」「記述式」の正答率は県平均よりやや高い値である。

### 【中学校2年理科】

《教科総合》…県平均よりやや高い値である。

「基礎」…県平均よりやや高い値である。

「活用」…県平均よりやや高い値である。

#### 《領域・内容別》

- 「エネルギー」「粒子」「生命」の領域で県平均よりやや高い値である。
- 「地球」の領域は県平均よりやや低い値である。
- 内容的に「物質の状態変化」「力と圧力」の分野が優れている。
- 内容的に「水溶液の性質」「火山」の分野を伸ばしていく必要がある。

#### 《出題形式別》

- ・ 「選択式」「短答式」の正答率は県平均よりもやや高い値である。
- 「記述式」の正答率は県平均よりもやや低い値である。

### 【中学校2年英語】

《教科総合》…県平均よりやや高い値である。

「基礎」…県平均よりやや高い値である。

「活用」…県平均よりやや高い値である。

#### 《領域別・内容別》

- ・ 「聞くこと」の領域は県平均とほぼ同じ値である。
- 「書くこと」「読むこと」の領域は県平均よりやや高い値である。
- 内容的に「対話文の応答」「長文の読み取り」「単語の並べ替えによる英作文」「3文以上の英作文」する能力が優れている。
- 内容的に「語彙の知識・理解」する能力を伸ばしていく必要がある。

#### 《出題形式別》

- 「選択式」の正答率は県平均よりやや高い値である。
- 「記述式」の正答率は県平均より高い値である。
- ・ 「短答式」の正答率は県平均とほぼ同じ値である。

### 【中学校2年意識に関する調査】

- 「授業の最後に、学習したことを振り返る活動をよく行っている」「授業で扱うノートには、学習の目標とまとめを書いている」という質問に対しての肯定的答えが県平均より高い値である。また、「漢字の読み方や言葉の意味が分からないときは、辞書を使って調べている」「数学の授業で問題を解くときには、言葉や数、式だけでなく、図、表、グラフなどを使って考えるようにしている」という質問に対しての肯定的答えが県平均より高い値である。
- 「家で、自分で計画を立てて勉強をしている」をはじめ多数の家庭学習に関する質問に対しての肯定的答えが県平均より低い値である。また、「難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦してい

る」「自分の行動や発言に自信をもっている」という質問に対しての肯定的答えが県平均より低い値である。

以上のことから、家庭学習を調整する力や様々なことに挑戦する力に課題があるので、家庭と連携を図り自己肯定感を高めることや安心して学習に取り組める環境をつくることの工夫が必要と思われる。

#### 《その他》

○携帯電話・スマートフォンの非所持率は、県平均より高い値である。